

試料・情報利用研究計画書(概要)				
研究番号	2024-1032	利用形態	共同研究	
研究題目	乳がん患者の薬剤誘発間質性肺炎の原因解明		研究期間	2024年10月 ～ 2025年3月
主たる研究機関	神奈川県立がんセンター	責任者氏名・職	星野 大輔	部長代理
分担研究機関	東北大学東北メディカル・メガバンク機構	責任者氏名・職	田宮 元	教授
研究目的と意義	乳がんでは、他がん種に比べ薬剤治療によってがんを制御できる確率が高いです。しかしながら、薬剤誘発間質性肺炎によって、投薬を中止せざるを得ないケースが生じています。このことから本研究では、薬剤誘発間質性肺炎になりやすい遺伝的素因を探索し、薬剤誘発間質性肺炎の発症予測マーカーの確立を目的とします。			
研究計画概要	神奈川県立がんセンターがリクルートした研究参加者のDNA検体により行われたジャボニカアレイ解析のデータを東北大学東北メディカル・メガバンク機構(ToMMo)で受け入れ、ToMMoでは東北メディカル・メガバンク計画のコホート調査参加者の同情報を比較することにより、薬剤誘発間質性肺炎になりやすさに関連する遺伝子多型を解析します。この関連解析はToMMoスーパーコンピュータ内で実施します。 また、神奈川県立がんセンターの解析データから遺伝子多型情報を取得する際に、東北メディカル・メガバンク計画のコホート調査参加者の全ゲノム解析情報をもとに作られた、全ゲノムリファレンスパネルの情報を利用します。			
利用試料・情報	対象:東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査に参加された方および三世代コホート調査に参加された方 試料:なし 情報:全ゲノム解析によるゲノム情報			
期待される成果	本研究により薬剤誘発間質性肺炎の発症リスクにつながる遺伝要因が明らかになること、また、将来的に、リスクに応じた投薬方法の開発に寄与することが期待されます。			
倫理審査等の経過	2024年10月 東北大学東北メディカル・メガバンク機構倫理審査委員会			
倫理面、セキュリティー面の配慮	本研究課題は神奈川県立がんセンターと共同で実施されるため、ToMMoの研究者に加えて神奈川県立がんセンターの研究者が、利用承認を得てToMMoスーパーコンピュータ内で、研究方法に記載の情報をういた解析を行う場合があります。ただし、東北メディカル・メガバンク計画のコホート調査参加者の全ゲノム解析情報そのものを神奈川県立がんセンターに提供することはありません。			
その他特記事項	この研究は神奈川県立がんセンターの共同研究費により実施します。			
(事務局使用欄)	*公開日 2024年11月6日			